

2 阿久和南部地区 地域福祉保健計画

1 地区の概況

- ・ 瀬谷区の南部に位置し、旭区や泉区にも隣接しています。
- ・ 瀬谷区のうち、3番目に人口の多い地区です。
- ・ 地区の西側と北東部に集合住宅が多くあります。
- ・ 年齢構成では、区平均と比べ15歳未満のこどもの割合がやや高く、家族構成でも単身の世帯が少なく、夫婦と子世帯の割合が区平均より高くなっています。しかし、5年前に比べると高齢化が進み、単身世帯も増えています。
- ・ 畑や緑が豊かな公園も多い地区です。



2 第1期で取り組んだ主な活動や事業

- ・ 連合自治会が中心となり、こどもフェスティバル、南部まつり、敬老会、大運動会など地域の活動を活発に行い、地域の交流づくりを進めています。
- ・ 各自治会やボランティア団体が、地域サロンや地域ミニデイサービス、配食サービス、一人暮らし高齢者食事会、その他多くの福祉保健活動を進めています。また、子育て支援活動も活発に活動しています。親子サッカー教室や親子体験学習ツアーなどの親子交流活動も進んでいます。
- ・ 課題になっている、支援が必要な高齢者や子どもに対する地域の見守り体制づくりや移送サービスについて、検討の仕組みづくりが始まりました。

3 第2期計画に向けての課題

- ・ 高齢化が年々進み、単身世帯も増えているため、支援が必要な人が増えています。今は何かあっても駆けつけられるので大丈夫との声もありますが、今後の取組の検討が必要です。
- ・ 地域サロンや老人会など、外へ出かけられる人への取組はいろいろ行っていますが、出て来られなくなった人への対応を検討する必要があります。
- ・ 区平均と比べこどもの多い地域であり、地域との関わりづくりが大事です。
- ・ 連合や単位自治会、ボランティア団体で活動をたくさん行っているので、それを結びつけていくことが必要です。



第2期計画検討の様子



高齢者食事会

4 推進母体

阿久和南部連合自治会、阿久和南部地区社会福祉協議会
【事務局：阿久和南部地区社会福祉協議会】

5 第2期計画の取組内容

声かけとあいさつから始まる安心まちづくり

一人暮らし高齢者が増えている。老人会やサロンなど集まる場所は見守りにつながる。



地域交流の促進

- ① 地域・地区行事等の継続・拡充
 - ・ 連合・単位自治会、活動団体の行事や活動の継続・拡充
- ② 福祉活動団体・グループのネットワークづくり
 - ・ 活動団体の把握・情報交換・広報
- ③ サロン等の場づくり
 - ・ 新規団体へのアドバイス、地域機関との連携



高齢者への支援

- ① 地域での見守り体制づくり
～気付きのキャッチ&見守りのリレー事業～
 - ・ 顔の見える関係づくり
→ 声かけとあいさつ
 - ・ 高齢者世帯状況の把握
 - ・ 情報連絡体制の確立
- ② 地域・地区行事等の継続・拡充
 - ・ 連合・単位自治会、活動団体の行事や活動の継続・拡充
- ③ 移送サービス事業の取組
 - ・ 実施条件の調査
 - ・ 本事業の立案—実施



こどもへの支援

- ① 地域・地区行事等の継続・拡充
 - ・ 行事や活動を通じたこどもどうし、こどもと大人との交流促進
- ② 地域全体でこどもを見守る体制づくり
～気付きのキャッチ&見守りのリレー事業～
 - ・ 声かけとあいさつで顔の見える関係を構築
 - ・ 情報連絡体制の確立



交通が不便なため、買い物や通院などに困っている高齢者などが増えている。

顔見知りになり、あいさつができるようになると、地域の活動にも参加しやすくなる。